

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

○調査の目的

児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣の状況を把握し、体育・健康に関する指導の改善等に役立てる。

○調査期間

令和4年5月～7月

○調査の内容

1 実技に関する調査

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
握力	kg	筋力	左右握力の平均値
上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間で上体を起こした回数
長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両足で左右側方に反復跳躍した回数
20mシャトルラン(小学生)	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
持久走(中学生)	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
立ち幅跳び	cm	筋パワー・跳躍能力	両足で前方へ跳躍した直線距離
ソフトボール投げ(小学生)	m	巧緻性・投球能力	ソフトボール1号球を遠投した距離
ハンドボール投げ(中学生)	m	巧緻性・投球能力	ハンドボール2号球を遠投した距離

2 質問紙調査

- ・運動に対する意識に関する質問(3問)
- ・生活習慣に関する質問(3問)
- ・オリンピック・パラリンピックに関する質問(1問)
- ・授業外の運動習慣に関する質問(3問)
- ・目標意識や自己肯定感などの意識に関する質問(4問)
- ・新型コロナウイルス感染症による影響に関する質問(1問)
- ・体育・保健体育の授業に関する質問(4問)

○調査の結果

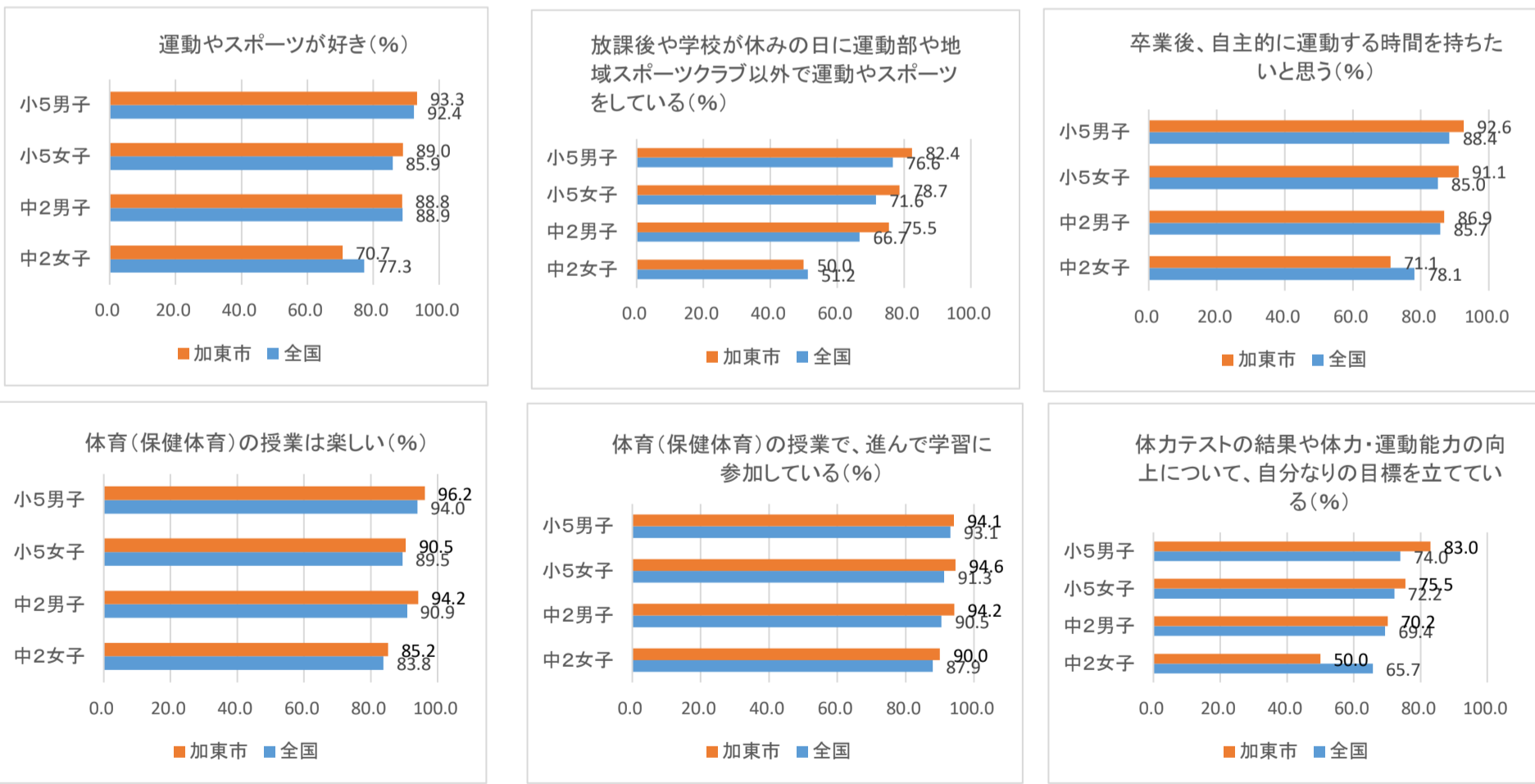
1 実技に関する調査結果 ※全国平均値を100とし、全国平均値との差が±0.0～5.0の場合は「同程度」、±5.1～の場合は「高い(低い)」とする。

小学校5年生男子	<h4>小学校5年生男子</h4> <p>(概要) 全体的に全国平均と同程度の体力・運動能力である。 20mシャトルラン(全身持久力)は全国平均よりも高い。 上体起こし(筋パワー、筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)は全国平均よりも低い。</p>	小学校5年生女子	<h4>小学校5年生女子</h4> <p>(概要) 全体的に全国平均と同程度の体力・運動能力である。 20mシャトルラン(全身持久力)は全国平均よりも高い。 長座体前屈(柔軟性)は全国平均よりも低い。</p>
中学校2年生男子	<h4>中学校2年生男子</h4> <p>(概要) 全体的に全国平均と同程度の体力・運動能力である。 握力(筋力)、反復横跳び(敏捷性)、ハンドボール投げ(巧緻性・投球能力)は全国よりも低い。</p>	中学校2年生女子	<h4>中学校2年生女子</h4> <p>(概要) 全体的に全国平均と同程度の体力・運動能力である。 持久走(全身持久力・長距離走能力)は全国よりも高い。 上体起こし(筋パワー・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、反復横跳び(敏捷性)、ハンドボール投げ(巧緻性・投球能力)は全国よりも低い。</p>

2 肥満傾向児・痩身(やせ)傾向児の出現率



3 質問紙調査結果



(概要)

全国平均と比較して、加東市では、「運動やスポーツが好き」と回答した児童生徒は同程度であるが、中2女子以外高い。「放課後や学校が休みの日に運動部や地域スポーツクラブ以外で運動やスポーツをしている」と回答した児童生徒はどの対象群も高く、「卒業後、自主的に運動する時間を持ちたいと思う」と回答した児童生徒も中2女子以外高い。「体育の授業は楽しい」と回答した児童生徒はどの対象群も高い。「体育の授業で進んで学習に参加している」では、どの対象群も高い。「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」では、中2以外高い。

○ 体力・運動能力向上に向けた主な取組

- ・こどもの体力向上推進事業
- ・体力・運動能力テストの全学年実施(小・中学校)
- ・水泳進級カードの活用と泳力の向上(小学校)
- ・中学校新人体育大会・総合体育大会
- ・中学校スキー教室(中学1年生)
- ・部活動指導員配置・部活動外部指導者派遣事業
- ・P.E.マスター派遣事業